

ピックアップ事業

補助金活用事業の中から、
特徴的な事業について
より詳しく紹介します。

ピックアップ!

木谷地域まちづくり実行委員会

地域活性化
文化

510,000 円
【300,000 円】
(地域)

【木谷地区ふれあい文化祭】(H22)

地域の各種団体を横断した実行委員会を結成し、公民館及び小学校を会場として、2日間に渡る文化祭を開催した。小学生や保育園児から大人まで幅広い年代の住民の舞台出演、作品出展があり、のべ600名の来場があった。

具体的な実施内容

木谷小学校及び隣接の公民館において実施したもの。

土曜日の午後には公民館において展示品のための公開を実施し、翌日の日曜日には、展示に加え、小学校体育館におけるステージ発表や模擬店の出店、お楽しみくじ等を実施した。

展示品は、地域住民や小学生・保育園児が作成した絵画、陶芸、竹細工等が出品され、ステージ発表には同じく地域住民、小学生が影絵劇、和太鼓等を披露した。

(出展、出演者のべ300名以上)



地域や他団体への波及効果

事業を通して、区長会・女性会・社会福祉協議会・PTA・小学校・保育所・公民館の協力体制ができた。

次年度以降の課題点、改善点等

若い人の参加が増えるよう、工夫する必要がある。(中学生、高校生、大学生の参加に力を入れる。)

地域の特産物の販売促進を図り、地域の活性化につなげていく。



ピックアップ!

志和堀ホタル祭り実行委員会

地域活性化
環境景観

610,243 円
【300,000 円】
(地域)

【第24回志和堀ホタル祭り】(H22)

ホタルが生息する環境を維持しながら、地域をあげて祭を開催している。地元の小・中学校や保育所の子供たちが出演する舞台などがあり、次世代の育成にもつながった。

具体的な実施内容

志和堀小学校グラウンド及び半川付近において、土曜日の夕方から実施した。

模擬店やステージ発表(保育園児、小・中学生、地域住民による太鼓ブラスバンド、ホタル音頭の披露)があり、21時の閉会宣言の後にはホタル観察のための散策を実施した。

また、翌年度の開催が25回目となるため、「第25回記念」のイベントを企画することとし、祭りの実行委員会やPTA、青年会、老人会等の各種団体代表者が集まり、「アイデア会議」を開催した。

地域や他団体への波及効果

志和堀の魅力(豊かな自然・人のもてなし・人情味)が発揮でき、今後志和町全体の祭りを目指すための基礎ができた。また、地域住民同士の絆、連帯意識が高まった。

次年度以降の課題点、改善点等

志和町全体の祭りになるように取り組んでいきたい。
スタッフの充実と後継者の育成に取り組む必要がある。
実行委員会組織の役割分担を見直し、関係団体がより活動しやすいようにしていきたい。



日時 6月5日(土)午後6時から
場所 志和堀小学校 校庭

ピックアップ!

高美が丘小学校区まちづくり推進協議会

地域活性化 環境景観

H23 464,978 円
【300,000 円】(地域)
H24 557,934 円
【300,000 円】(地域)
H25 844,842 円
【300,000 円】(地域)

【地域に貢献、みんなで「楽農」ほか】 (H23、H24、H25)

休耕田を活用し、地域住民による野菜作りを行うほか、生産したものに代えて地域の農家から提供を受けた野菜を販売する「新鮮野菜市」を開催し、地域住民の交流の場とした。また、子どもの農業体験として、キッズ農業塾を開催した。

具体的な実施内容

週1回のペースで農園作業を行い、月に1回程度「新鮮野菜市」を開催した。

農園ではトマトやなす、さつまいもなどを育て、「親子さつまいも苗植え」や「親子さつまいも掘り」等の体験会や、収穫したものを試食する会を開催した。

「新鮮野菜市」には、自分たちの収穫したものだけでなく、事業をとおして交流の生まれた近隣の高屋堀・杵原地区や安芸津や庄原の農家からの出荷があり、品数も増加した。

地域や他団体への波及効果

農園近隣の農家の人々との交流が生まれた。
新鮮野菜市の知名度も上がり、地域住民の交流の場となった。

次年度以降の課題点、改善点等

より質のよいものを生産できるように取り組んでいく。
地域の人が参加する農業、里山体験の場をさらに増やす。



ピックアップ!

能良振興協議会

地域活性化

H23 551,344 円
【300,000 円】(地域)
H24 752,579 円
【300,000 円】(地域)
H25 923,030 円
【300,000 円】(地域)

【ふくろう館まつり-自然体験交流会-】 (H23、H24、H25)

ふくろう館まつりを一年間に複数回開催し、花の寄せ植えやそば打ち、しいたけの植菌体験等のイベントを実施した。地域住民だけではなく、市内各地域から参加者が集まった。

具体的な実施内容

ふくろう館(現・能良地域センター)を中心に、平成 23 年度は年 4 回、平成 24 年度は年 5 回、平成 25 年度は年 6 回開催した。毎回、100 名前後の参加があった。

そば打ち体験や板鍋山、大山大権現のハイキング、野菜の収穫、しいたけの植菌体験など、毎回、その時の季節に合わせてプログラムを変え実施している。

地域や他団体への波及効果

他地域との交流促進につながった。
紅葉の板鍋林道、大山大権現など観光資源をアピールでき、自然豊かな地域のイメージを作り出すことができた。

次年度以降の課題点、 改善点等

これからも継続して開催したいが、財源の確保が課題となっている。



ピックアップ!

乃美別府住民自治協議会

地域活性化
環境景観

H24 412,371円
【300,000円】(地域)
H25 523,779円
【300,000円】(地域)

【乃美の里ふるさと活性化事業の継承】 (H24、H25)

かつて整備してあった山の頂の公園を、改めて整備し、子ども達の体験学習に活用した。また、地元の高校生が、ボランティア活動として樹木の伐採や桜の植樹に参加した。

具体的な実施内容

板鍋山、茶臼山において、トイレの修繕、駐車場の整備(樹木伐採、草刈り等)、登山道の整備(樹木伐採)を行い、これまで観光等で訪れる人々の利用が困難な状況になっていたところを改善した。

また、登山道の整備には地元の高校生が地域学習の中でボランティアとして参加し、小学校の児童に向けた「みんなおいでよ キッズクラブ」として板鍋山体験学習会を開催した。

地域や他団体への波及効果

体験学習会に参加した児童の感想に、「板鍋山がふるさとでの自慢できる場所のひとつになった」とあり、郷土愛の育成に貢献できたのではないかと考えている。

事業のことがメディアに取り上げられ、興味を持つ人が増えた。



次年度以降の課題点、改善点等

地域の歴史的資源を活用し、観光開発として引き続き事業を実施していきたい。

ピックアップ!

八本松小学校区まちづくり協議会

地域活性化
文化

385,696 円
【300,000 円】
(地域)

【八本松小学校区文化祭 「ひとつになろう！ふるさと八本松」 (H23)

地区の一体感の醸成に向け、小学校において新たに地域住民を対象とした文化祭を開催した。展示部門・発表部門を設けるなど、地域の多くの住民の参加を得た。

具体的な実施内容

八本松小学校の体育館を主な会場として、地域住民によるダンスやハンドベル演奏等のステージ発表や中学校家庭科部によるお茶席、同じく美術部・書道部の作品展示等が行われた。

ちらしやポスターを作成し、ちらしは全戸配布するなど周知に努めた。

地域や他団体への波及効果

地域の多くの人に関心を持ってもらい、また協力を得て、過去最大規模の地域行事となった。

次年度以降の課題点、改善点等

継続して開催したい。

主催：まちづくり協議会

八本松 ふるさと文化祭

大好き！ふるさと八本松

日程：11月13日(日)
場所：八本松小学校

子どもたちのふるさとを愛する心を育むこと、地域のみなさまの一体感を醸成することを目的に、「八本松ふるさと文化祭」を開催いたします。
みなさま、ご近所お隣り合わせのうえご来場いただき、地域のみなさまの熱演・力作をご覧ください。秋のひとときを、地域を挙げて楽しみましょう！

9:00~12:00
創立記念学服発表会（八本松小学校学校行事）
地域のみなさまの作品展（八本松小学校PTA主催行事）

13:00~15:00（体育館）
◎ステージ
八本松中学校ギターマンドリン部
八本松フォークダンスクラブ
D.D.K八本松（ポップロックダンス）
八本松更生保護女性会（ハンドベル演奏）
空手道 拳志館 八本松（演武）
和の文化（ミニ舞・日本舞踊・華）
チャリディングチーム「FAIRIES」

ラッキープレゼント抽選会！
豪華景品あり・空くじなし
八本松カーテンプレイス：「お母様から」グルメ商事
TOYS：グルメ商事子供服、その他お買物品あり。

13:00~15:00（体育館）
◎お茶席（先着100名様）
八本松中学校家庭科部
◎作品展示
八本松中学校美術部・書道部

12:00~13:00（下校廊）
◎うどん（先着300名様）
整理券を11時~12時に下校廊校舎付送
受付で配布します。運営費に充てる為
250円以上のご寄付をお願いします。

ピックアップ!

板城地区市民協働まちづくり推進協議会

環境景観
地域活性化

302,277 円
【240,000 円】
(地域)

【西大沢生活保全林整備事業】(H22)

大迫山とその多目的広場までの遊歩道が荒れており、広場内の東屋に近づくことも困難な状態であったため、地域住民が一体となり、遊歩道及びその周辺を整備することで、利用者が安心して歩くことができるように再生した。

具体的な実施内容

10月に、大迫山遊歩道及び多目的広場の整備を行った。

具体的には、草刈りによる遊歩道の整備や、朽ちていた丸太橋の架けかえ、植栽への施肥、東屋の清掃等を実施し、遊歩道や東屋の利用が可能になっただけでなく、草が多く近づくことが困難だった案内看板の周囲の環境も改善された。

地域住民70名が参加し、作業の後は、女性会による炊き出しが行われ、昼食としてふるまわれて住民同士が親交を深めた。



地域や他団体への波及効果

事業へ積極的に参加する住民も多く、当日の参加者は計画人員を上回ったことから、次年度以降の活動に向け、協力して実施していくという方向づけができた。

次年度以降の課題点、改善点等

遊歩道を利用する最適な季節(5、6月)に合わせて事業を行う必要がある。

草刈りだけではなく、樹木の伐採・保護も必要である。



ピックアップ!

エコINNくろせ

環境景観
地域活性化

H22 378,256円
【300,000円】(地域)
H23 504,952円
【300,000円】(地域)

【いきいき黒瀬の土づくりプロジェクト】

(H22、H23)

もみ殻や竹等の地域資源を活用して、炭づくり、土づくりを実施し、脱温暖化による地域農業の活性化を推進した。また、農家のCO₂排出量・吸収量を調査し、脱温暖化に対する関心を高める取り組みをした。

具体的な実施内容

平成22年度には、①農家のCO₂の排出量・吸収量を把握するためのアンケート、②もみ殻燻炭器を自作し燻炭づくり、③メタン発酵消化液を利用した稲作を実施した。

平成23年度には、④竹炭の作成に取り組み、竹炭窯の作製した。また、自作したもみ殻燻炭器の貸出も開始し、燻炭づくりの取り組みを拡充した。



地域や他団体への波及効果

もみ殻を使った燻炭づくりは、住民の関心が高く、各地域からの視察や機器の貸し出し依頼を受けるようになった。

次年度以降の課題点、改善点等

もみ殻燻炭作り等を黒瀬町内外へと広め、一人でも多くの方が「エコな土づくり」を実践していけるよう取り組んでいく。

竹炭作りの効率を高め、河川浄化等のまちづくりにつなげたい。

ピックアップ!

NPO 法人 NPO ひがしひろしま

環境景観
地域活性化

379,372 円
【300,000 円】
(地域)

【道の駅周辺の紅葉線を「もみじ」で彩り輝く活動】(H23)

道の駅周辺の道路を整備し、もみじを植樹した。以前植樹した桜と合わせて、季節ごとの景観美化を行うことで、まちの魅力向上につなげた。

具体的な実施内容

7月と10月に除草作業を行い、11月には造園業者の協力を得て重機による整地や倒木の撤去作業を行ったのち、もみじ苗30本の植樹を実施した。

また、12月には植樹後の活着状況等の点検を行い、今後の維持管理について検討を進めた。

地域や他団体への波及効果

地域の景観が向上し、また、活動に参加した構成員の意識改革がみられた。

次年度以降の課題点、改善点等

今回の事業で対象としている区域以外の場所の雑草、雑木をどうするかが課題となるが、特に目立つ場所については、今回の事業を継続して活動する中で対応をしていく。

除草作業の回数を、現在の年2回から年3回に増やす。



ピックアップ!

自治組織「you 愛 sun こうち」

環境景観
地域活性化

H21 470,887 円
【375,000 円】(地域)
H22 370,963 円
【240,000 円】(地域)

【河内小学校校庭芝生化】

(H21、H22)

小学校の校庭に地域住民の手で芝生を植え、当番制による水やり、施肥や芝刈りを行っている。また、事業の実施にあたって、すでに芝生化をした施設を視察し、活動に活かした。

具体的な実施内容

グラウンド面積 2,800 m²のうち、平成 21 年度に 600 m²、翌年度に残りの 2,200 m²に芝苗の植え付けを実施した。植え付けには、地域住民 210 名の参加があった。

植え付けの後は、地域住民による当番制の水やりを 1 日 1 回継続して行い、また、肥料散布(平成 22 年度に 9 回)や芝刈り(同 7 回)を実施している。



地域や他団体への波及効果

地域住民、学校関係者、児童、保護者が一緒に活動することにより、今まで以上に地域の団結、連携が深まった。

次年度以降の課題点、改善点等

水やり、施肥や芝刈り等、維持管理を継続して行う必要があり、特に芝刈りが大きな負担となっていること、活動計画(地域住民の動員計画)は早めに作成すること、芝生グラウンドの活用について具体的な計画を策定すること等があげられる。

なお、芝刈り作業の負担は、平成 25 年度地域が提案!新しい公共サービス応援補助金を活用し、乗用の芝刈り機を購入することによって軽減された。

ピックアップ!

NPO 法人 メセナ SUN-CLUB 学びの森

環境景観

583,677 円
【300,000 円】
(地域)

【小学生の自然体験学習会】(H23)

1 年を通し、小学生を対象とした様々な自然体験学習会を開催した。不便な環境の中で畑の開墾やいかだづくり、野外料理等に取り組むことにより、子ども達の生きる力や行動力、忍耐力の育成につながった。

具体的な実施内容

年間を通して月ごとに学習会を開催した。

- 4 月 野菜畑の開墾、自然観察と植物図鑑づくり、山野草観察
- 5 月 野菜の苗植え、自然観察と植物図鑑づくり
- 6 月 鳥の餌台づくり、バードウォッチング、自然観察と植物図鑑づくり
- 7 月 いかだづくり、いかだ遊び、自然観察と植物図鑑づくり
- 9 月 自然観察と植物図鑑づくり、釣り、芋ほり
- 10 月 竹のクラフト、釣り、自然観察と植物図鑑づくり
- 11 月 コナラの伐採及び丸太切り、木の動物づくり
- 12 月 竹トンボづくり、木の動物づくり
- 1 月 コナラの薪割り及び炭焼き、山野草採取、木の動物づくり
- 2 月 炭焼窯開け、鳥の巣箱づくり、野鳥観察、木の動物づくり
- 3 月 果樹の植樹、木の動物づくり、自然観察及び植物図鑑づくり

地域や他団体への波及効果

自然体験学習のノウハウを蓄積することにより、他の事業でも充実した内容の活動を展開することができた。



次年度以降の課題点、改善点等

自然体験に関する知識や技術が目標レベルに達した子どもを評価するシステムを考える必要がある。

活動を継続していくためには、体験活動の指導者養成が必須である。

ピックアップ!

あきつほっと安心ネットワーク

福祉

423,115 円
【300,000 円】
(地域)

【安心して暮らせるまちづくり活動】

(H25)

地域の各種団体がネットワークを結成し、お薬手帳の配布や認知症についての講演会、糖尿病予防の啓発(各種イベントでの寸劇等)に取り組んだ。

具体的な実施内容

- ①お薬手帳の利用推進のため、医師会等から寄附を受けた手帳カバーを薬局で配布したり、80か所以上の商店や事業所の協力を得て、お薬手帳のPRグッズの設置した。
- ②「認知症の正しい理解と効果的な予防」と題して、安芸津生涯学習センターにおいて講演会を開催した。
- ③認知症予防、糖尿病予防のためのウォーキング講習会を実施した。
- ④防災への関心を高めるため、「防災講演会」を安芸津生涯学習センターで開催し、あわせて非常食の試食会を実施した。
- ⑤災害が発生した際に自分の足で避難ができるよう、地域のイベントに参加し「お薬レンジャー」に扮して「ロコモ体操」の普及を行った。



地域や他団体への波及効果

お薬手帳を持つ人が増加し、薬を重複して処方することが減った。

次年度以降の課題点、改善点等

災害に対する住民の意識は高くないと思われるため、住民自治協議会等との連携を強め、情報が伝わるようにする必要がある。
活動の趣旨を理解してもらい、賛同者を増やしたい。

ピックアップ!

草が城の里・河戸自治協議会

防災防犯

260,340 円
【196,800 円】
(地域)

【緊急連絡網の充実(各家庭への配布)】 (H24)

地区を3分割し、それぞれの指定避難場所を表示した緊急連絡網を作成し、各戸に配布した。磁石で貼り付けられるようにしており、家内での貼り付けを依頼した。また、防災の意識啓発として、講演会を実施した

具体的な実施内容

防犯・防災部会(交通安全協会員、消防団員等)が中心となり、緊急連絡網(避難場所を示した地図、緊急時の連絡先を記載したポスター)を作成した。

さらに地区を3分割したものを作成し、各家庭に配布した。配布したものは、裏面が磁石になっており、冷蔵庫等に貼れるようにしている。

さらに、防災訓練や、講演会(「土砂災害について」「自主防災について」)を開催し、意識啓発に努めた。



地域や他団体への波及効果

地域住民の災害に対する意識はまだまだ低い。市広報に掲載されたこともあり、他の地域からの問い合わせを受けた。

次年度以降の課題点、改善点等

地域実態を考慮した防災講座、訓練を積み重ねる必要がある。住民の危機意識を高めるため、計画に沿って継続して実施する。

消防団員が現役世代であるため、実際に災害が起こった際には地域にいない。

ピックアップ!

東西条地区住民自治協議会 防犯・防災部会

防災防犯

410,021 円
【300,000 円】
(地域)

【防犯・防災マップ作成・配布】(H25)

小学校児童及び保護者が参加し防犯マップの作成を実施し、全児童の世帯に配布した。また、地域住民が危険箇所等の現地調査を実施、避難ルートの確認等を行い、防災マップを作成した。防災マップは全戸分を印刷し、配布した。

具体的な実施内容

【地域安全マップ】

地元小学校の児童及び保護者等 100 名以上の参加のもと、小学校区を 4 分割し、「犯罪が起こりやすい場所」を実際に歩いて地図に書き込んだ。作成したマップは、小学生がいる全世帯に配布した。

【防災マップ】

全区(43 区)から参加者を募り、班を編成して現地を歩き、危険箇所・避難場所・避難ルートを検討しマップに書き込んだ。作成したマップは印刷会社に発注し全世帯分を印刷・配布した。

地域や他団体への波及効果

マップづくりを通じて、地域の連帯感、連携が図られる契機となった。



次年度以降の課題点、改善点等

マップ作成によって明らかになった地域の課題について、関係機関と調整しながら対応策・解決策を検討していきたい。

ハード事業からソフト事業(避難訓練の実施、自主防災防犯組織の結成等)へシフトさせ、活動の活性化を図っていきたい。

ピックアップ!

広島大学学生団体 Finder

学生
地域活性化

414,892 円
【200,000 円】
(学生)

【green drinks Saijyo】(H24)

年4回のイベントで、講師を招いた講演会やワークショップを企画・運営した。酒蔵関係者、企業関係者と地域コミュニティが交流する場を提供した。

具体的な実施内容

酒蔵カフェ等を会場として、学生や一般市民(社会人)の参加を募り、講義と交流会、ワークショップ等を開催した。

第1回 「酒と水の話をしてしよう」(ゲスト:賀茂泉酒造 前垣壽男氏)

第2回 「酒と土の話をしてしよう」(ゲスト:広島大学准教授 長沼毅氏)

第3回 「Satumi(里海)の話をしてしよう」

(ゲスト:広島大学名誉教授 松田治氏)

第4回 「みんなで燻製 モクモク★ナイト」

(ゲスト:おやし活性化委員会 木原実行氏)

地域や他団体への波及効果

社会人と学生が交流を持ち、企画・運営することができた。

次年度以降の課題点、改善点等

今回の事業でできたつながりを活かし、他の団体と積極的に連携していきたい。



ピックアップ!

Links みつじょう(MCSS)

学生
文化

H22 200,002 円
【200,000 円】(学生)
H24 200,000 円
【200,000 円】(学生)

【三ツ城わくわく夕涼み会】

(H22、H24)

学生が主体となり、地域住民、保護者らの協力のもと、小学校のグラウンドで、野外での映画上映や出店、出し物のステージ発表等を行い、多くの人でにぎわった。

具体的な実施内容

平成 22 年度は、三ツ城小学校構内において、「おまつり広場」と「星空映画会」の 2 つの会場を設置し、「おまつり広場」では 16 時から模擬店やステージ発表、「星空映画会」は野外での映画上映会として 19 時 30 分から開催した。

その後も毎年継続して実施し、平成 24 年度には、「児童スタッフ」として、小学校の児童がイベント運営に参画するしくみを作るなど、多様な意見により運営ができるような工夫を行った。

地域や他団体への波及効果

イベントを通じて知り合った大学生と地域住民が、他のイベントで交流する様子が見られた。

次年度以降の課題点、改善点等

地域への呼びかけ方や実施場所を工夫し、地域からの参加が増えるようにしたい。

児童もイベント企画に参画するチャンスを作りたい。



ピックアップ!

NPO 法人 メセナ SUN-CLUB 学びの森

人材育成
環境景観

126,000 円
【84,000 円】
(ひと)

【庄原市「自然観察指導員講習会受講」】 (H25)

自然体験活動を展開する際に指導員として関わる人材の確保を目的に、団体会員が自然観察指導員講習を受講した。また、受講したメンバーに指導員としての自覚も芽生えた。

具体的な実施内容

庄原市で開催された日本自然保護協会の自然観察指導員講習会に、当法人会員 7 名が参加した。

【内容】

- 野外実習「自然観察の視点」、「自然観察会の素材」
「自然観察会の企画」「自然観察会の開催」
- 講義「自然の保護-生物多様性の保全と私たちの暮らし-」
「自然の観察-自然観察会と指導員の役割-」



地域や他団体への 波及効果

継続して実施している当法人の自然体験イベントの実施を担う人材が整った。

講習の受講後、自然体験指導員として地域での活動に積極的に関わるようになった受講者もいた。

次年度以降の課題点、改善点等

特になし。

ピックアップ!

野菜や くろせ

人材育成
福祉

277,400 円
【150,000 円】
(ひと)

【障害者就労支援楽農活動

【家族で食卓、楽しい一時】(H25)

日野市役所において「農の学校」講座に関するヒアリング、また、同市七ツ塚ファーマーズセンターの視察を行い、知的障害者に就業支援活動を行うためのノウハウを学んだ。

具体的な実施内容

日野市役所(東京都)まちづくり部産業振興課において、「農の学校」講座※に基づく農業習得に関する研修カリキュラムについて説明を受け、研修後の実績や効果、問題点等を聴き取った。

※「農の学校」講座…基本的な農作業の習得し、地域農家への作業補助のボランティア活動の実施を目的としている講座

また、日野市立七ツ塚ファーマーズセンターでの農場規模や作業内容及び作付品目等の視察を予定したものの、台風の影響により一部中止となった。

地域や他団体への波及効果

「農の学校」講座のノウハウを運営に取り入れ、地元農家へのボランティア活動を行う。

次年度以降の課題点、改善点等

収益性の有る仕組み作りや生産コストの削減に取り組む。

